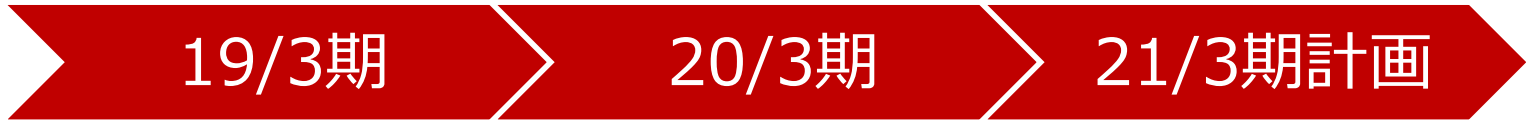


株式会社ニレコ(6863) 2020年3月期 決算説明資料

2020年5月22日

業績推移



実績及び計画

	19/3期	20/3期	21/3期計画
受注高	9,325百万円 (前期比+7%)	8,317百万円 (前期比▲11%)	8,700百万円 (前期比+8%)
売上高	8,441百万円 (前期比+7%)	8,775百万円 (前期比+4%)	8,400百万円 (前期比▲4%)
営業利益	898百万円 (前期比+27%)	952百万円 (前期比+6%)	450百万円 (前期比▲53%)

重点テーマ

- ◆ 市場の拡大
- ◆ 技術の進化
- ◆ 株主還元

いかなる環境下においても成長できる体制の実現

逆風下での事業基盤維持

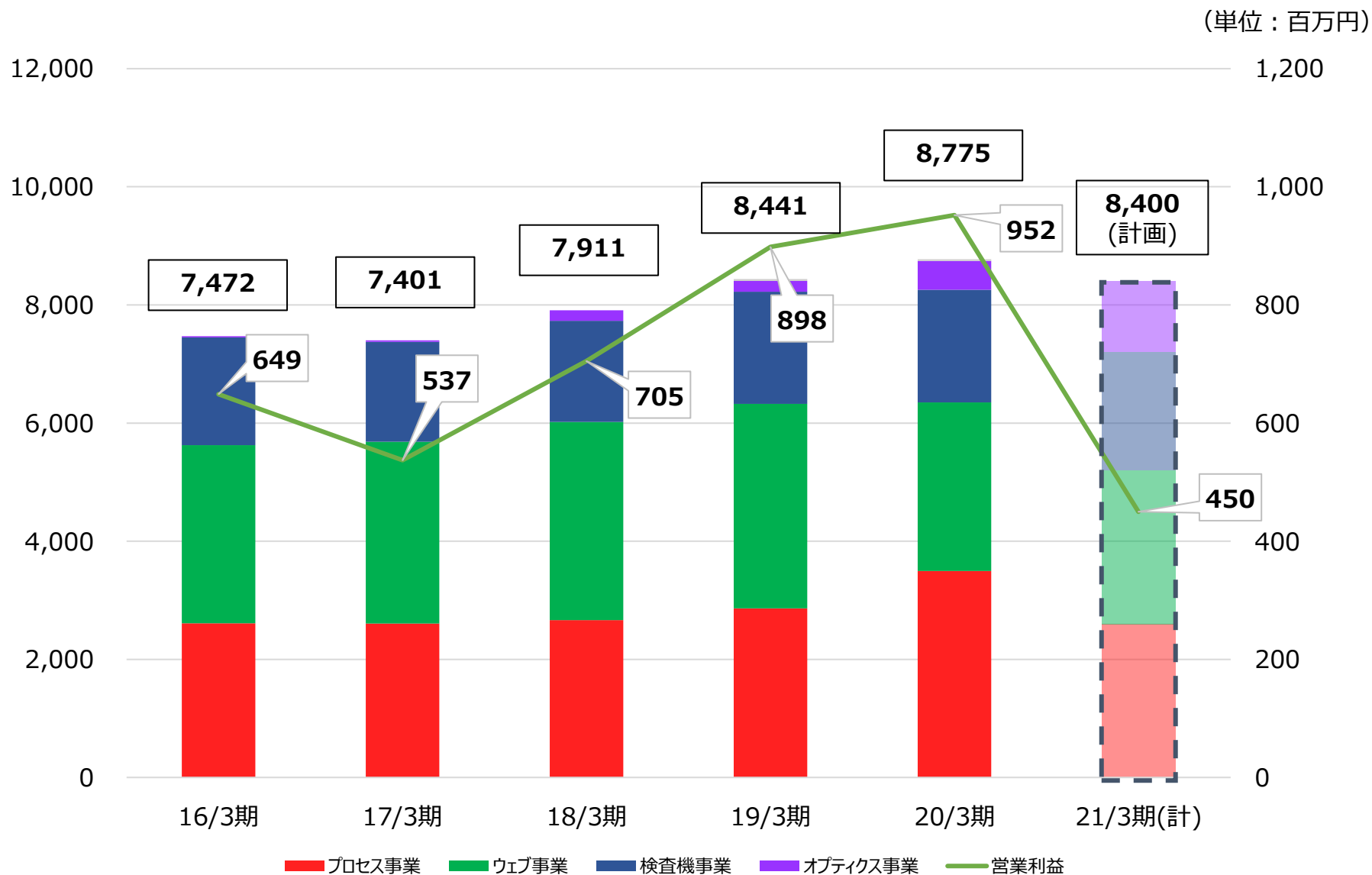
競争優位性の向上

20/3期の取組み

- ・ 海外製販体制の拡充
- ・ 光学部品分野への事業展開開始
- ・ レーザー関連等開発体制の強化

安定配当の維持を基本に配当性向35%を目標

業績推移



※18/3期以前の光学事業の表示は、従来の「その他」の数値を基に記載しています。

1. 前期実績
2. 今期計画
3. 持続的成長に向けて

1. 前期実績 (2019/4 – 2020/3)

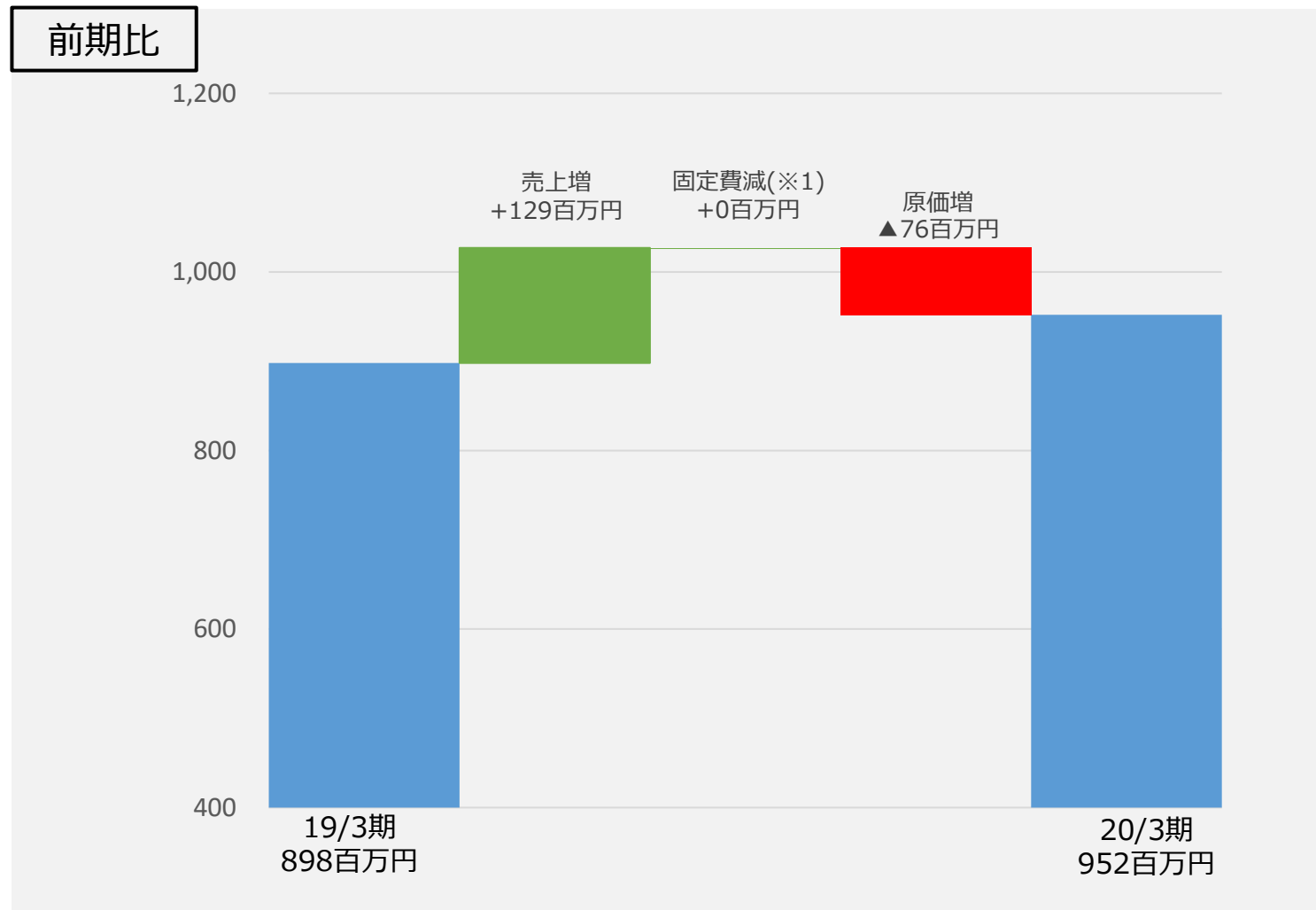
連結実績

- 営業利益・親会社株主に帰属する当期純利益が前期比・計画比で上回るも、米中貿易摩擦やコロナウィルスの感染拡大影響等により、受注高は減少

(単位：百万円)

	19/3期	20/3期		増減率	
	実績	期初計画	実績	前期比	計画比
受注高	9,325	9,300	8,317	▲11%	▲11%
売上高	8,441	9,000	8,775	+4%	▲3%
営業利益	898	950	952	+6%	+0%
営業利益率	10.6%	10.6%	10.9%	-	-
経常利益	1,011	1,050	989	▲2%	▲6%
経常利益率	12.0%	11.7%	11.3%	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	489	730	779	+59%	+7%
当期純利益率	5.8%	8.1%	8.9%	-	-
1株当たり当期純利益(円)	66.07	98.46	106.58	+61%	+8%
受注残高	3,824	4,124	3,367	▲12%	▲18%

営業利益増減要因



※1.固定費 = 販売費及び一般管理費

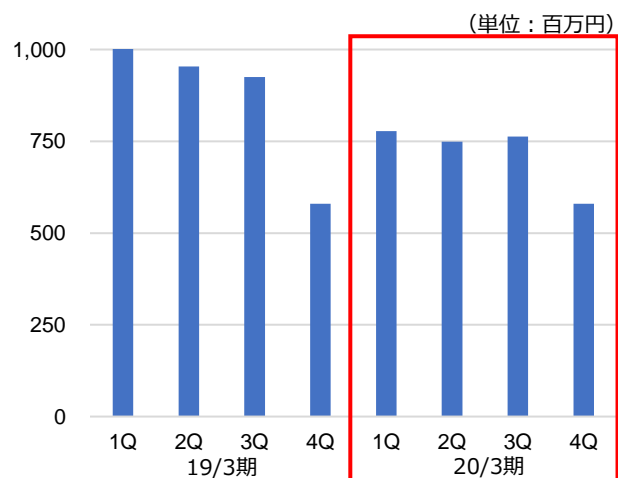
プロセス事業

- 前期好調であった受注高が当期の売上高、利益に貢献
- 鉄鋼業界における過剰生産設備削減の動きを受け、受注残高減

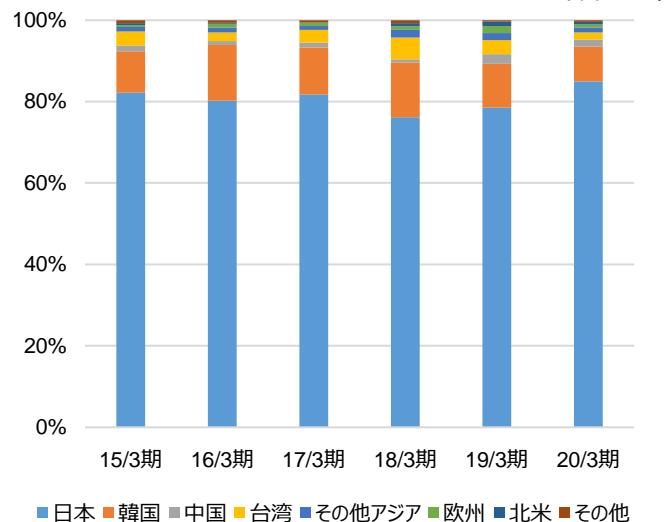
(単位：百万円)

	19/3期	20/3期		増減率	
	実績	当初計画	実績	前期比	計画比
受注高	3,535	3,500	2,870	▲19%	▲18%
売上高	2,862	3,300	3,497	+22%	+6%
セグメント利益	671	750	736	+10%	▲2%
セグメント利益率	23.5%	22.7%	21.1%	-	-
受注残高	2,141	2,341	1,514	▲29%	▲35%

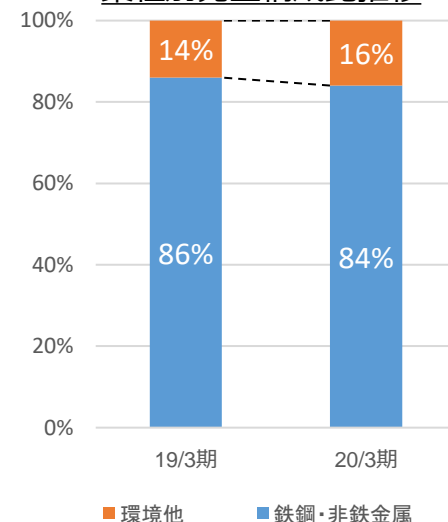
受注高推移



地域別売上高推移



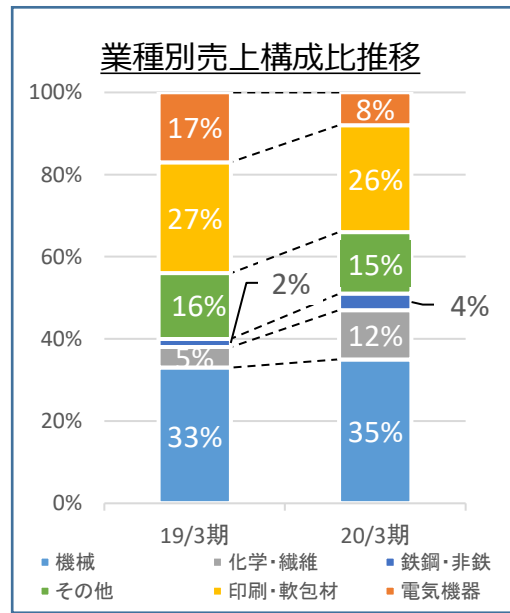
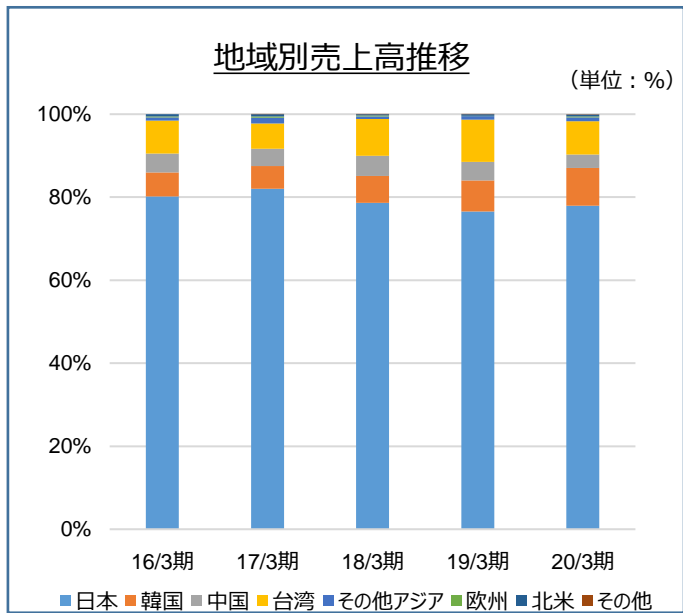
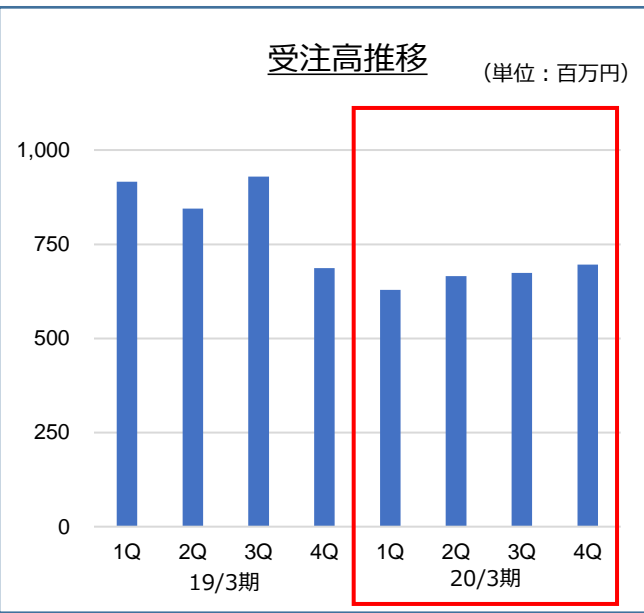
業種別売上構成比推移



ウェブ事業

➤ 中国経済の鈍化影響等による海外二次電池、電子部品の設備投資需要鎮静化の影響を受け、売上高、利益が前期比で減少
 (単位：百万円)

	19/3期	20/3期		増減率	
	実績	当初計画	実績	前期比	計画比
受注高	3,376	3,400	2,664	▲21%	▲22%
売上高	3,463	3,400	2,853	▲18%	▲16%
セグメント利益	842	800	547	▲35%	▲32%
セグメント利益率	24.3%	23.5%	19.2%	-	-
受注残高	748	748	559	▲25%	▲25%



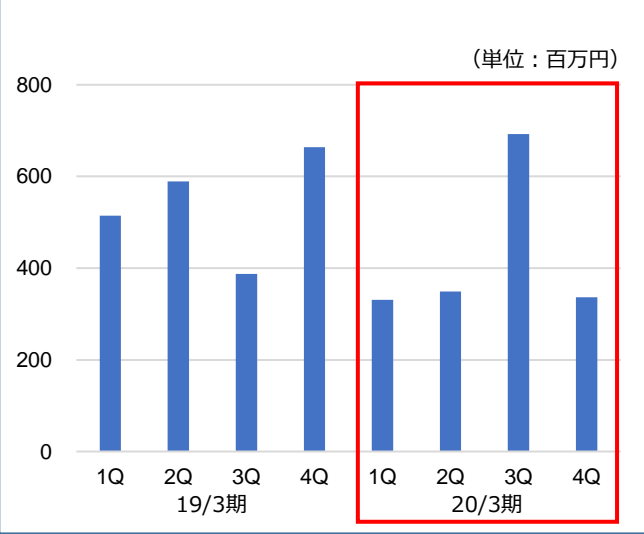
検査機事業

- 市場の不透明感の中、無地検査装置は売上高が前期を上回る
- セグメント利益改善

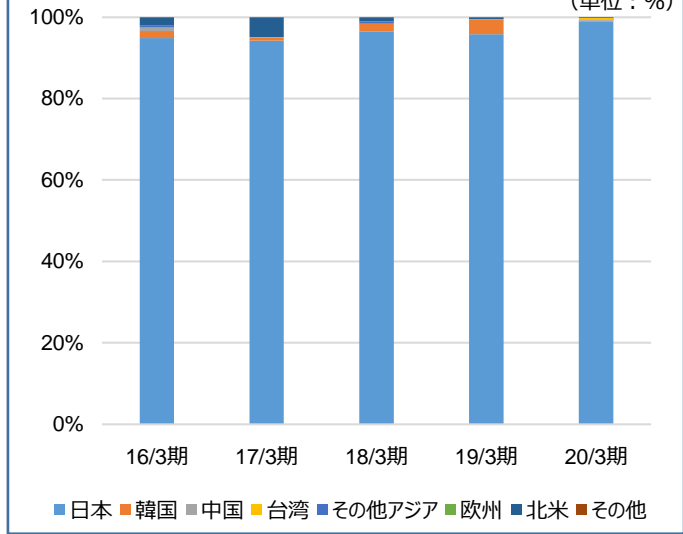
(単位：百万円)

	19/3期 実績	20/3期		増減率	
		当初計画	実績	前期比	計画比
受注高	2,154	2,200	1,708	▲21%	▲22%
売上高	1,896	2,100	1,906	+1%	▲9%
セグメント利益	72	100	92	+28%	▲8%
セグメント利益率	3.8%	4.8%	4.9%	-	-
受注残高	910	1,010	711	▲22%	▲30%

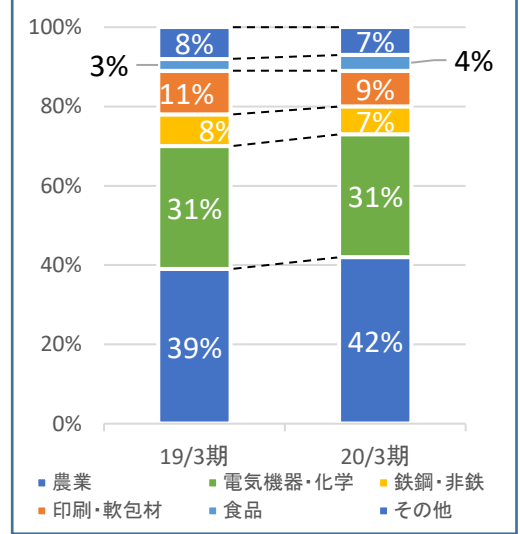
受注高推移



地域別売上高推移



業種別売上構成比推移

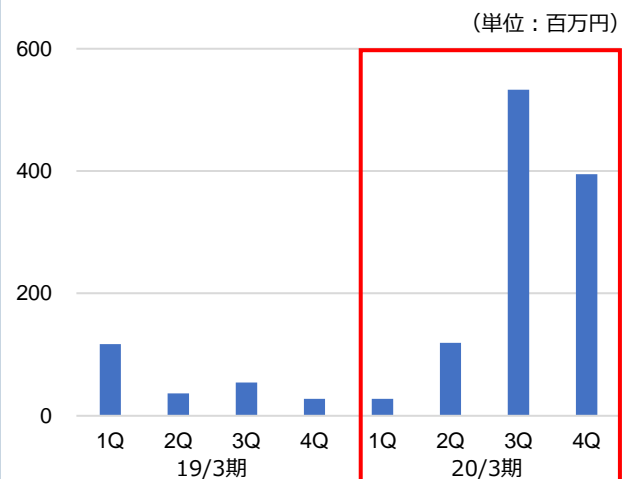


オプティクス事業

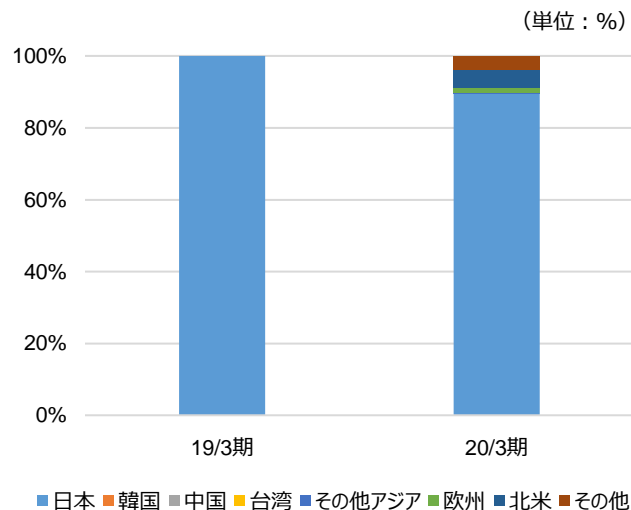
- 株式会社光学技研がグループ会社となり、レーザー関連製品とあわせて半導体検査装置や医療分野向けに事業展開
(単位：百万円)

	19/3期 実績	20/3期 実績
受注高	235	1,046
売上高	184	486
セグメント利益	▲ 106	78
セグメント利益率	-	16.2%
受注残高	24	578

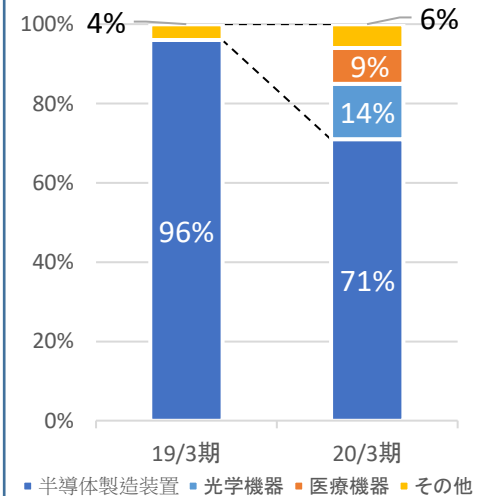
受注高推移



地域別売上高推移



業種別売上構成比推移



※1.オプティクス事業は20/3期より区分したことから、受注高推移については、従来の「その他」区分を記載しています。

※2.光学技研の売上高は4Qから、受注高は3Qからそれぞれ取り込んでいます。

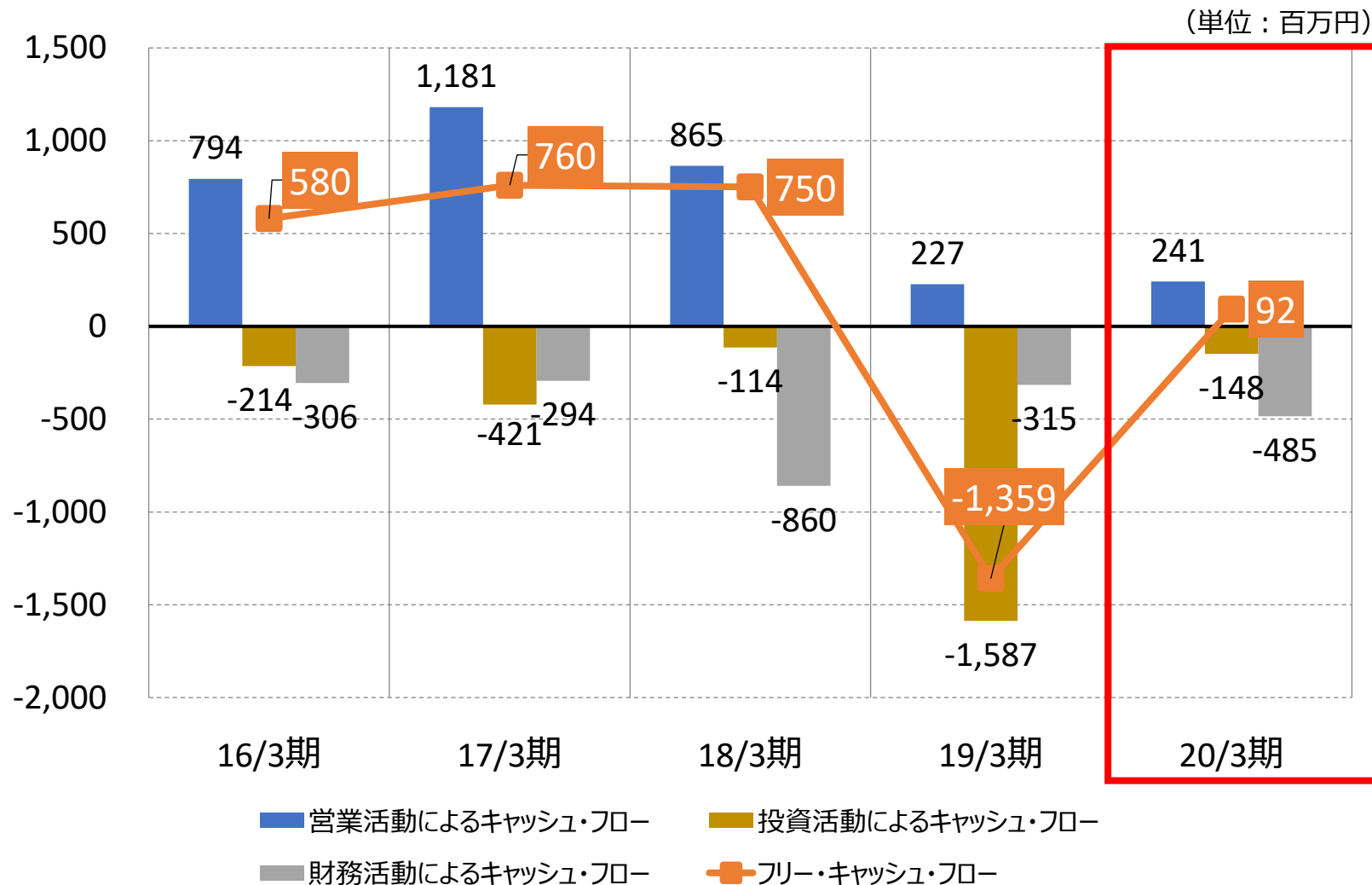
貸借対照表

- 株式会社光学技研のグループ会社化により、固定資産及び固定負債等が前期末比で増加

(単位：百万円)

	19/3期		20/3期		前期末比 増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
現金・預金	4,990	35.6%	4,155	27.8%	▲ 835
売上債権	3,280	23.4%	4,116	27.6%	+ 836
棚卸資産	1,896	13.5%	1,933	12.9%	+ 37
その他流動資産	338	2.4%	234	1.6%	▲ 104
流動資産	10,506	75.0%	10,439	69.9%	▲ 67
有形固定資産	1,919	13.7%	2,854	19.1%	+ 935
無形固定資産	133	1.0%	245	1.6%	+ 112
投資その他資産	1,454	10.4%	1,398	9.4%	▲ 56
固定資産	3,506	25.0%	4,498	30.1%	+ 992
資産合計	14,012	100.0%	14,937	100.0%	+ 925
買入債務	392	2.8%	299	2.0%	▲ 93
その他流動負債	1,068	7.6%	1,189	8.0%	+ 121
流動負債	1,460	10.4%	1,488	10.0%	+ 28
固定負債	61	0.4%	567	3.8%	+ 506
負債合計	1,521	10.9%	2,055	13.8%	+ 534
純資産合計	12,490	89.1%	12,882	86.2%	+ 392
負債・純資産合計	14,012	100.0%	14,937	100.0%	+ 925

キャッシュ・フローの状況



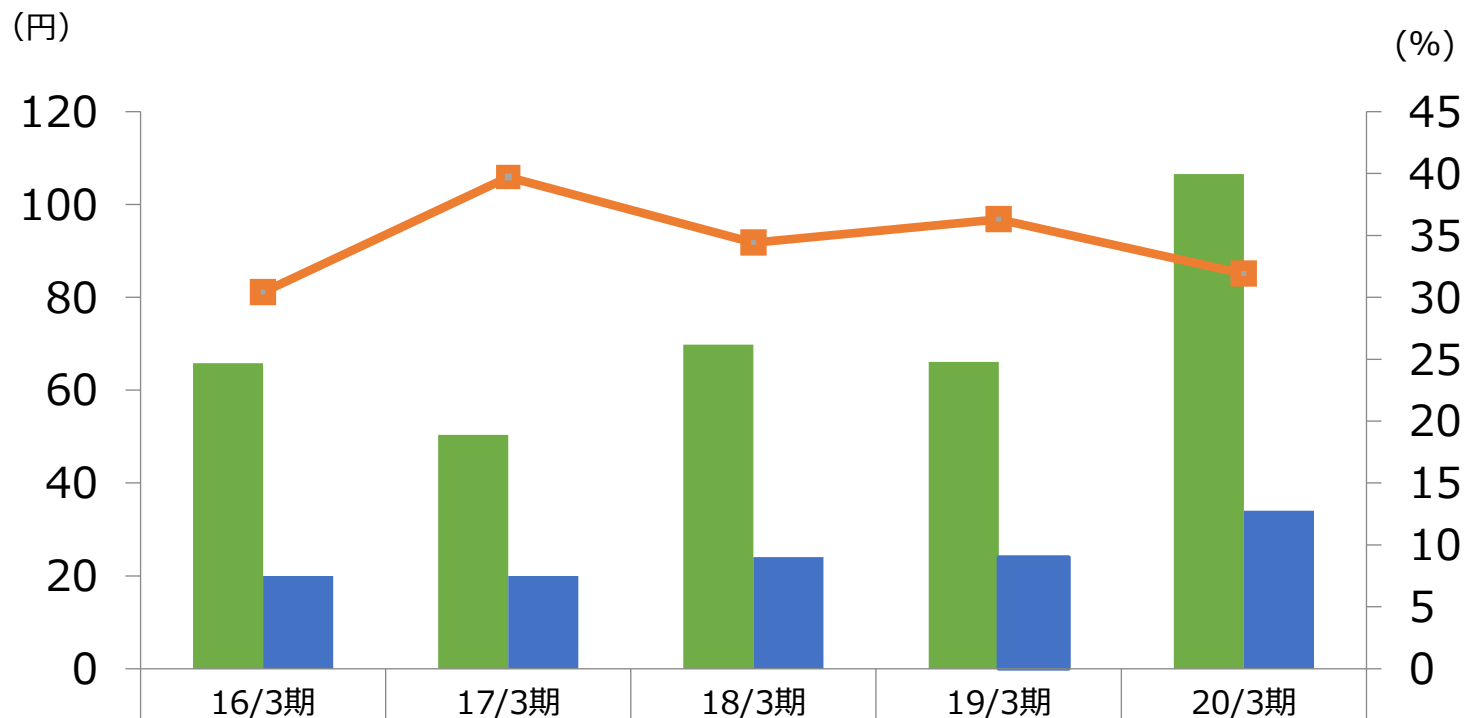
20/3期概況

営業活動によるキャッシュ・フロー：税金等調整前当期純利益（1,030百万円）、売上債権の増加(-705百万円)

投資活動によるキャッシュ・フロー：定期預金預入及び払戻(447百万円)、子会社株式取得（-400百万円）、固定資産取得（-168百万円）

株主還元について

〈基本方針〉 安定配当の維持を基本に連結配当性向目標35%



■ 1株当たり当期純利益	65.8	50.39	69.79	66.07	106.58
■ 配当金(円)	20	20	24	24	34
■ 配当性向(%)	30.4	39.7	34.4	36.3	31.9

20/3期は年間配当対前年比10円の増配

2. 今期計画 (2020/4 – 2021/3)

今期計画

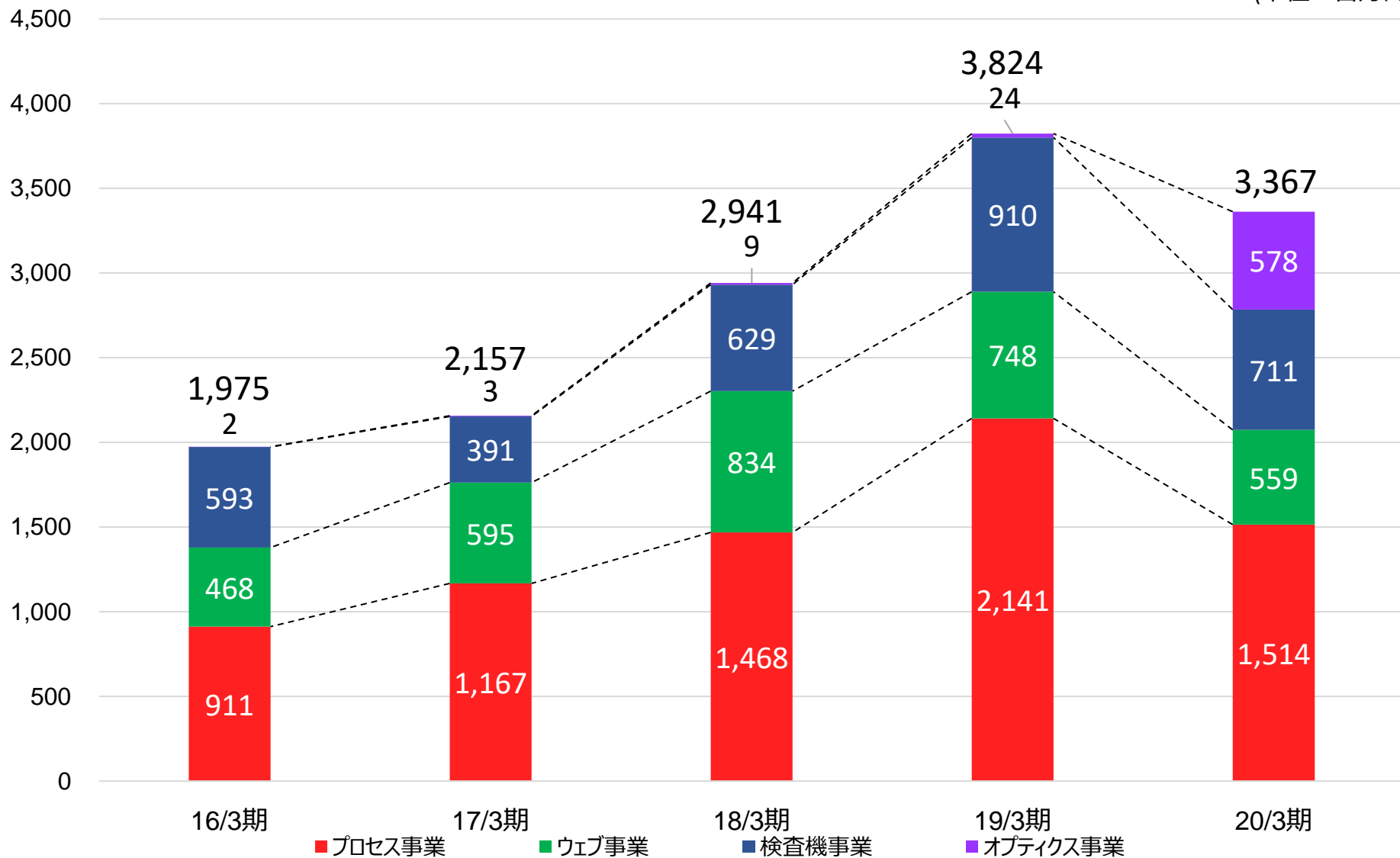
- 新型コロナウイルスの感染拡大により厳しい事業環境を想定
- 対前期比減収、減益を見込む

(単位：百万円)

	20/3期 実績	21/3期 計画	増減率 実績比
受注高	8,317	8,700	+5%
売上高	8,775	8,400	▲4%
営業利益	952	450	▲53%
営業利益率(%)	10.9%	5.4%	-
経常利益	989	490	▲50%
経常利益率(%)	11.3%	5.8%	-
親会社株主に帰属する当期純利益	779	340	▲56%
当期純利益率(%)	8.9%	4.0%	-
1株当たり当期純利益(円)	106.58	46.54	▲56%
受注残高	3,367	3,667	+9%

受注残高状況推移

(単位：百万円)



※オプティクス事業は20/3期より区分したこと、受注高推移については、19/3期以前は従来の「その他」区分の受注残高を記載しています。20/3期は、「その他」の受注残高を含んでいません。

対象市場の状況と施策：プロセス事業

国内鉄鋼市場

- 設備の集約により鉄鋼メーカーの設備投資減退



- 品質、生産性向上の更新需要を着実に受注
- コストダウン注力

海外鉄鋼市場

- コロナウィルス感染拡大による需要減から中国を中心に市場回復見込

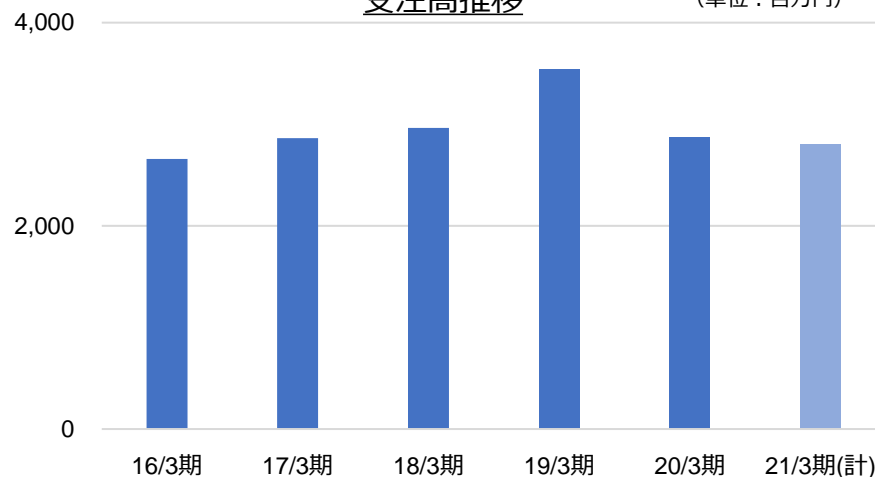


- 中国、韓国など早期の回復が見込まれる地域での体制強化に注力
- 中国の産業高度化に伴う制御・検査需要を取込む
- 海外向け製品開発に注力

	20/3期 実績	21/3期 計画
受注高	2,870	2,800
売上高	3,497	2,600
セグメント利益	736	350
セグメント利益率	21.1%	13.5%

受注高推移

(単位：百万円)



対象市場の状況と施策：ウェブ事業

国内市場

- 二次電池、電子部品向け引き合いは遅れはあるものの一定水準で推移
- 5G向け等へ電子部品メーカーの設備投資



- 電子部品メーカーの設備投資需要取り込み
- 製品用途の拡大に注力

海外市場

- 中国・韓国・台湾の二次電池、電子部品向け引き合いは今後も一定水準で推移

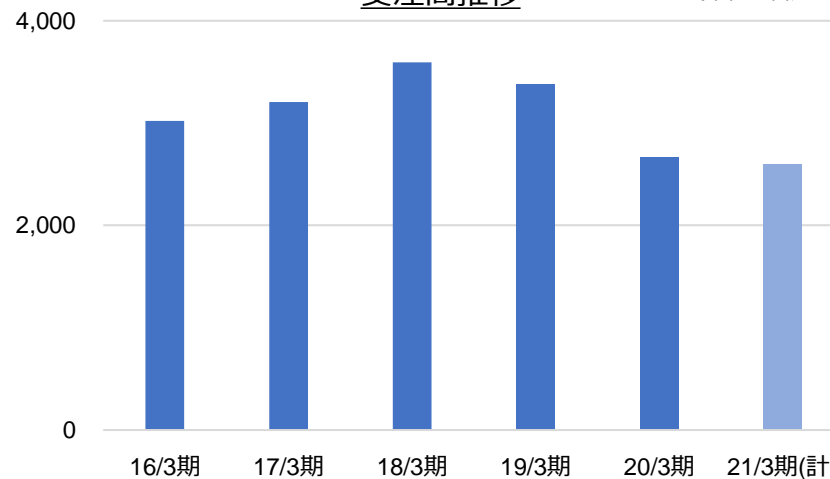


- 海外販売強化に向け製販体制強化

	20/3期 実績	21/3期 計画
受注高	2,664	2,600
売上高	2,853	2,600
セグメント利益	547	350
セグメント利益率	19.2%	13.5%

受注高推移

(単位：百万円)



対象市場の状況と施策：検査機事業

高機能フィルム市場

- 二次電池、電子部品向けの設備投資に遅れ
- ニーズの多様化



- 無地検査装置の更なる市場拡大
- 検査装置新製品の市場投入

食品市場

- 農業分野向け検査装置については、需要に一巡感
- 省人化・生産性向上ニーズなどから、加工食品向けの検査需要拡大

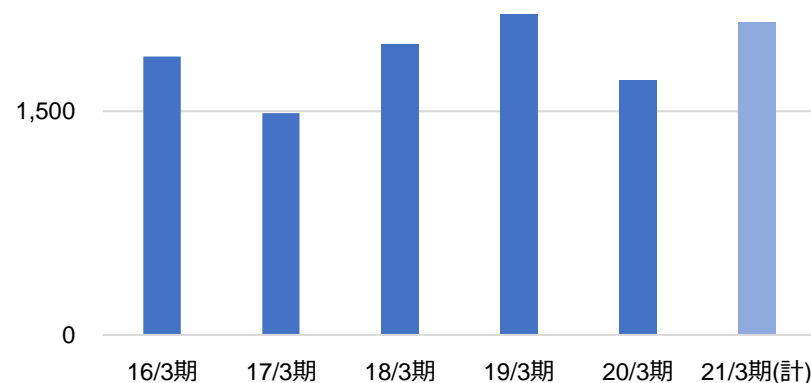


- 新たな加工食品検査ニーズへの対応強化
- 選果装置の海外市場開拓に向けたマーケティング

	20/3期 実績	21/3期 計画
受注高	1,708	2,000
売上高	1,906	2,000
セグメント利益	92	100
セグメント利益率	4.9%	5.0%

受注高推移

(単位：百万円)



対象市場の状況と施策：オプティクス事業

光学部品市場

- 半導体検査装置需要は微細化等で需要強い
 - レーザー関連光学部品は幅広い需要あり
- ↓
- 光学部品需要の取り込みに向け生産能力拡大
 - 結晶加工技術・研磨技術の強みを活かした新規用途開拓

レーザー関連製品等

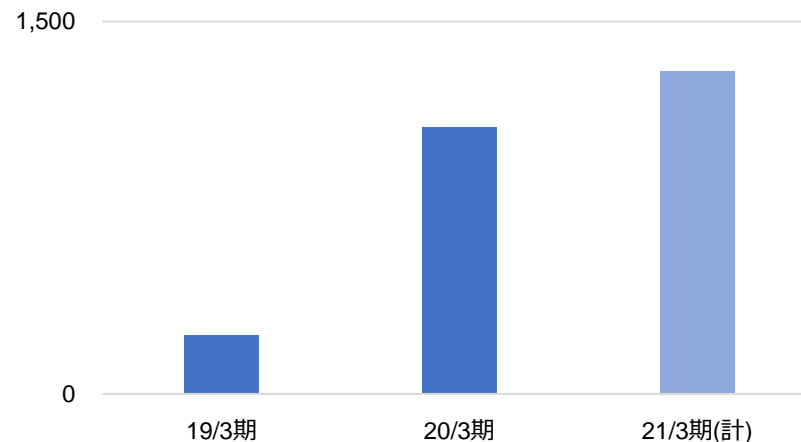
- 海外メーカーのシェアが高い国内市場
- ↓
- サポート面など、国内メーカーの強みを活かしたマーケティング
 - 新製品の早期市場投入
 - 製品特徴を活かした用途開発

	20/3期 実績	21/3期 計画
受注高	1,046	1,300
売上高	486	1,200
セグメント利益	78	200
セグメント利益率	16.2%	16.7%

※当社グループ会社となった株式会社光学技研を20/3期第4四半期会計期間より連結対象としたため、光学関連事業の重要性が増し、従来「その他」に区分していた光学関連事業と合わせ、20/3期よりオプティクス事業を区分いたしました。
そのため、20/3期の売上高実績と21/3期の売上高計画には乖離があります。

受注高推移

(単位：百万円)



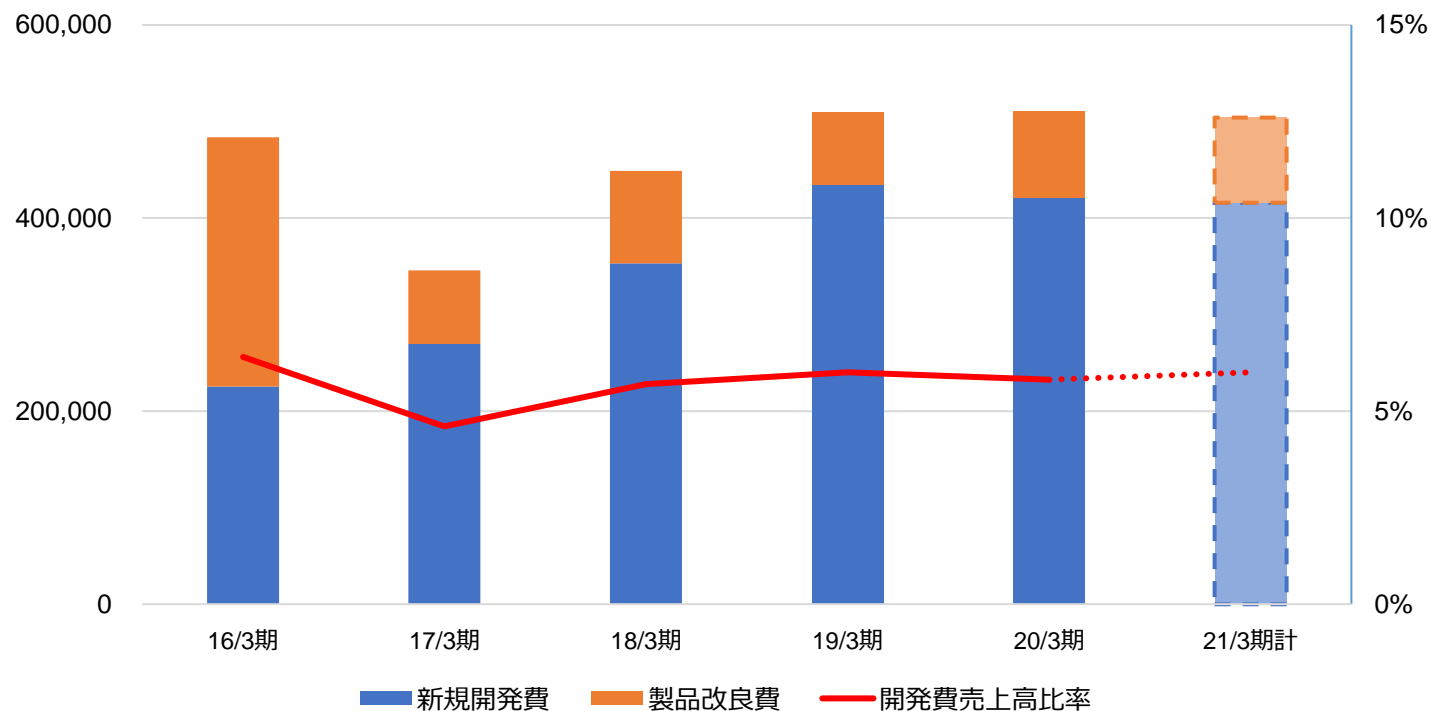
R&D

➤ 強みを持つ技術を活用し、新たな収益源の創出に向け、開発案件への取組みを加速

主な開発テーマ

- 次世代検査機・計測装置の開発
- レーザー技術による製品開発
- 磁界、高周波技術による製品開発

(単位：千円)



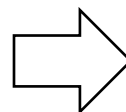
3. 持続的成長に向けて

持続的成長に向けた重点テーマ

いかなる環境下においても成長できる体制の実現

市場の拡大

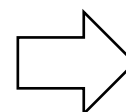
- 海外展開の推進強化
- 検査機事業の強化・オプティクス事業の強化
- 新製品開発による新事業分野の開拓



事業基盤の拡大強化

技術の進化

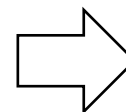
- 画像解析技術の高機能化による製品展開
- 光学技術による製品開発
- 磁界、高周波技術による製品開発



競争優位性の向上

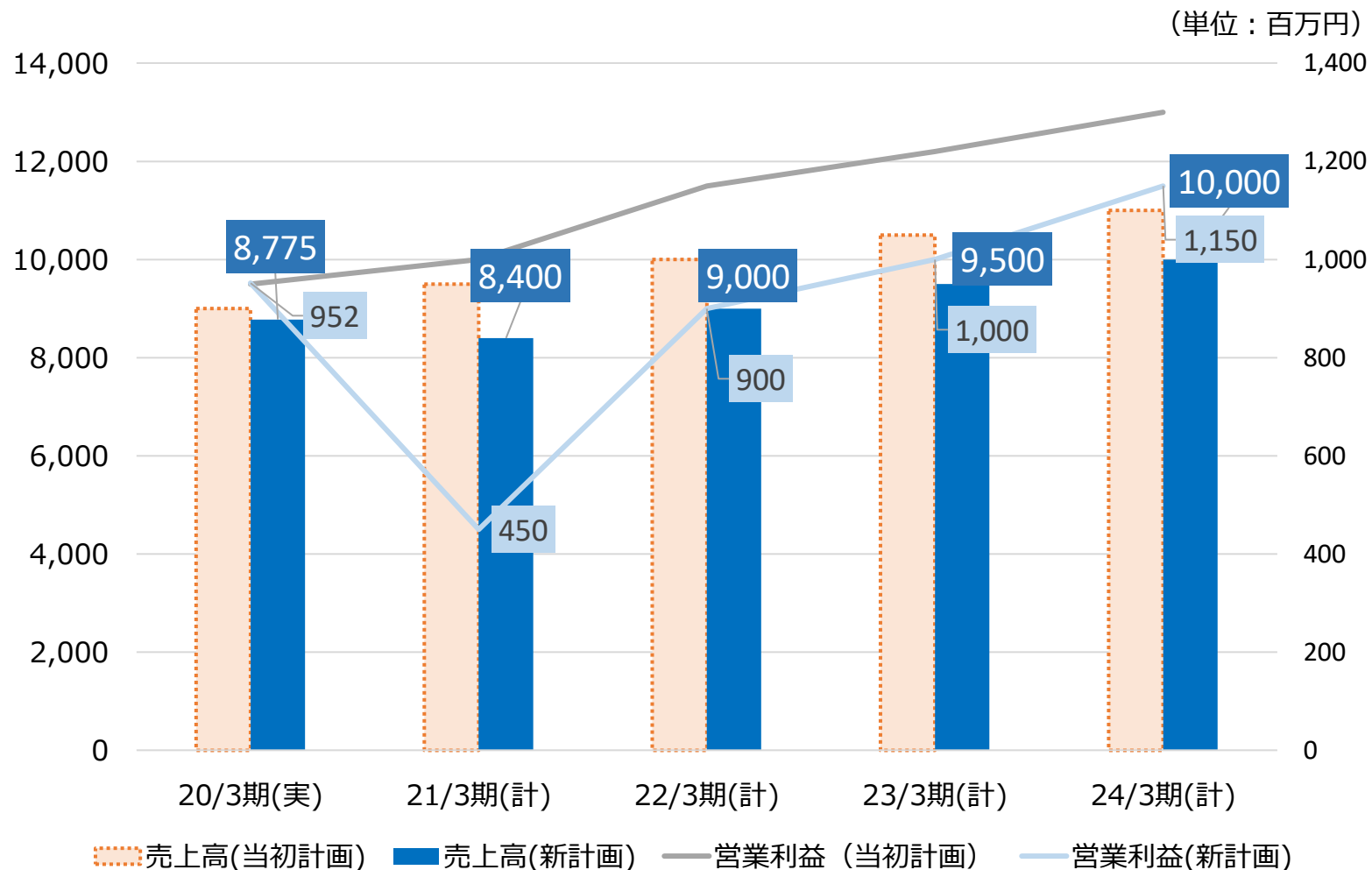
経営体質の強化

- 既存事業の収益改善
- グループ連携強化によるシナジー最大化
- 競争力強化のための人的投資、並びにインフラ投資



経営基盤の強化

5 年計画



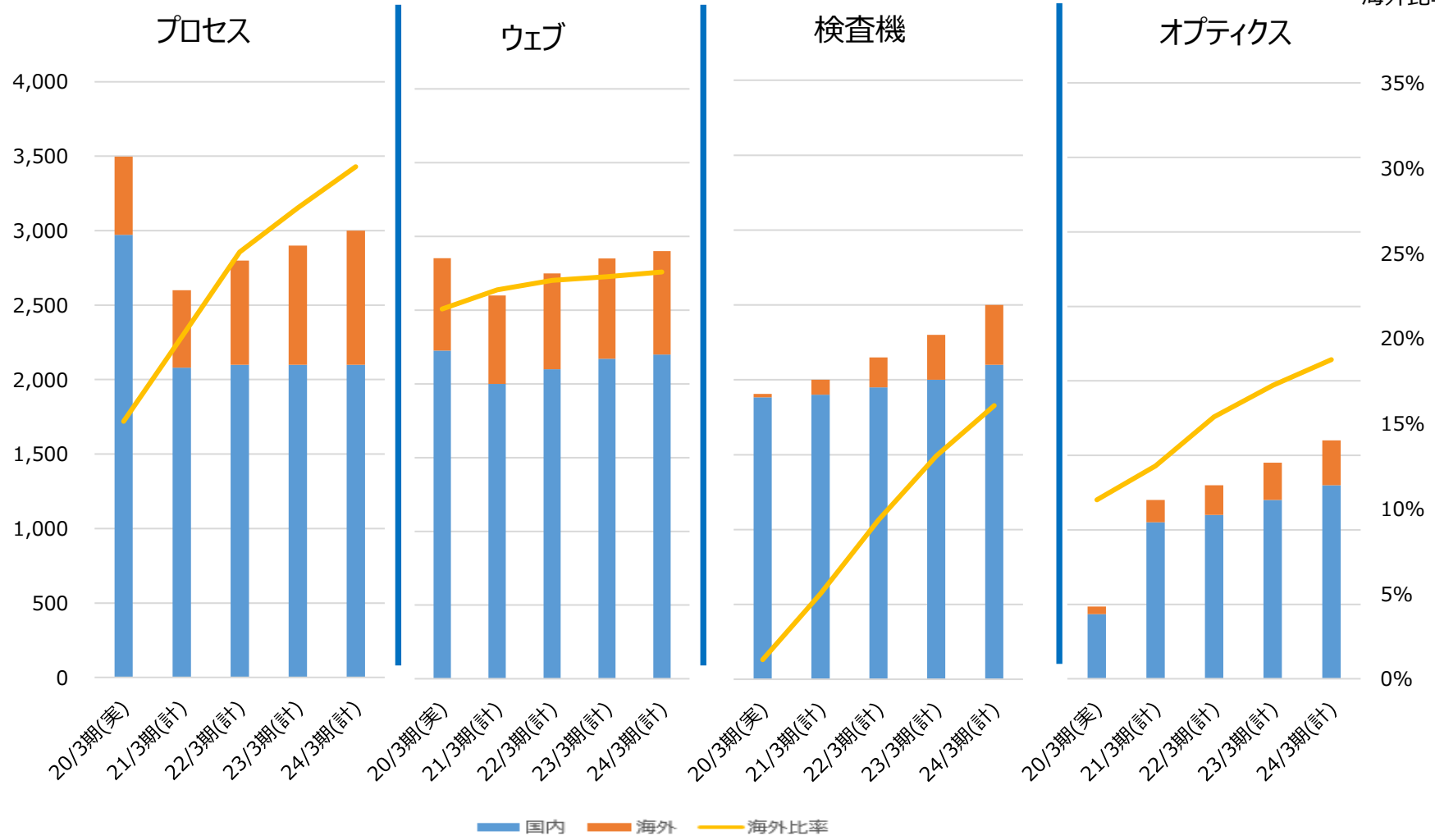
新型コロナウイルスの感染拡大に伴う経済収縮を受け、中期経営計画を見直し
 連結売上高100億円の達成は2年遅れることを想定

5 年計画

(セグメント別国内外売上)

売上高 (百万円)

海外比率



參考資料

会社概要

会社名	株式会社ニレコ
代表取締役社長	久保田 寿治
本社所在地	東京都八王子市石川町2951-4
設立	1950（昭和25）年11月
上場市場	東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）
資本金	3,072百万円*
連結従業員数	415名*
連結売上高	8,775百万円*

* 2020年3月期連結ベース

沿革

- 1950年 : 東京都中央区に日本レギュレーター株式会社を設立
- 1979年 : 東京都八王子市に本店を移転
- 1984年 : 商号を「株式会社ニレコ」に変更
- 1989年 : 日本証券業協会に株式を店頭公開
- 1990年 : ミスミ電子株式会社（現ミヨタ精密株式会社）を子会社化
- 1998年 : 仁力克股份有限公司を子会社化（台湾）
- 2003年 : 尼利可自動制御機器（上海）有限公司を設立（中国）
- 2004年 : JASDAQ証券取引所（現東京証券取引所JASDAQ（スタンダード））に上場
- 2014年 : Nireco Process Korea Co., Ltd.を設立（韓国）
- 2017年 : 株式会社メガオプトを子会社化
- 2018年 : Nireco Process Korea Co., Ltd.が土地・建物取得し生産体制整備
- 2019年 : Nireco International GmbHを設立（ドイツ）
 - 株式会社メガオプトを吸収合併
 - 株式会社光学技研を子会社化

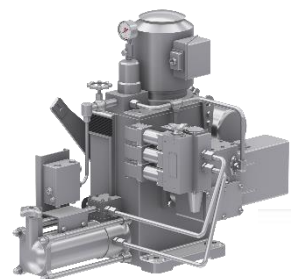
経営理念

「技術と信頼」

われわれは、制御、計測、検査技術を活かした製品ときめ細かいサービスの提供により、お客様から厚い信頼を獲得し、良きパートナーとして共に成長します。ひいてはパートナーシップにより生み出された価値が広く社会において喜びと感動をもたらす経営を目指します。

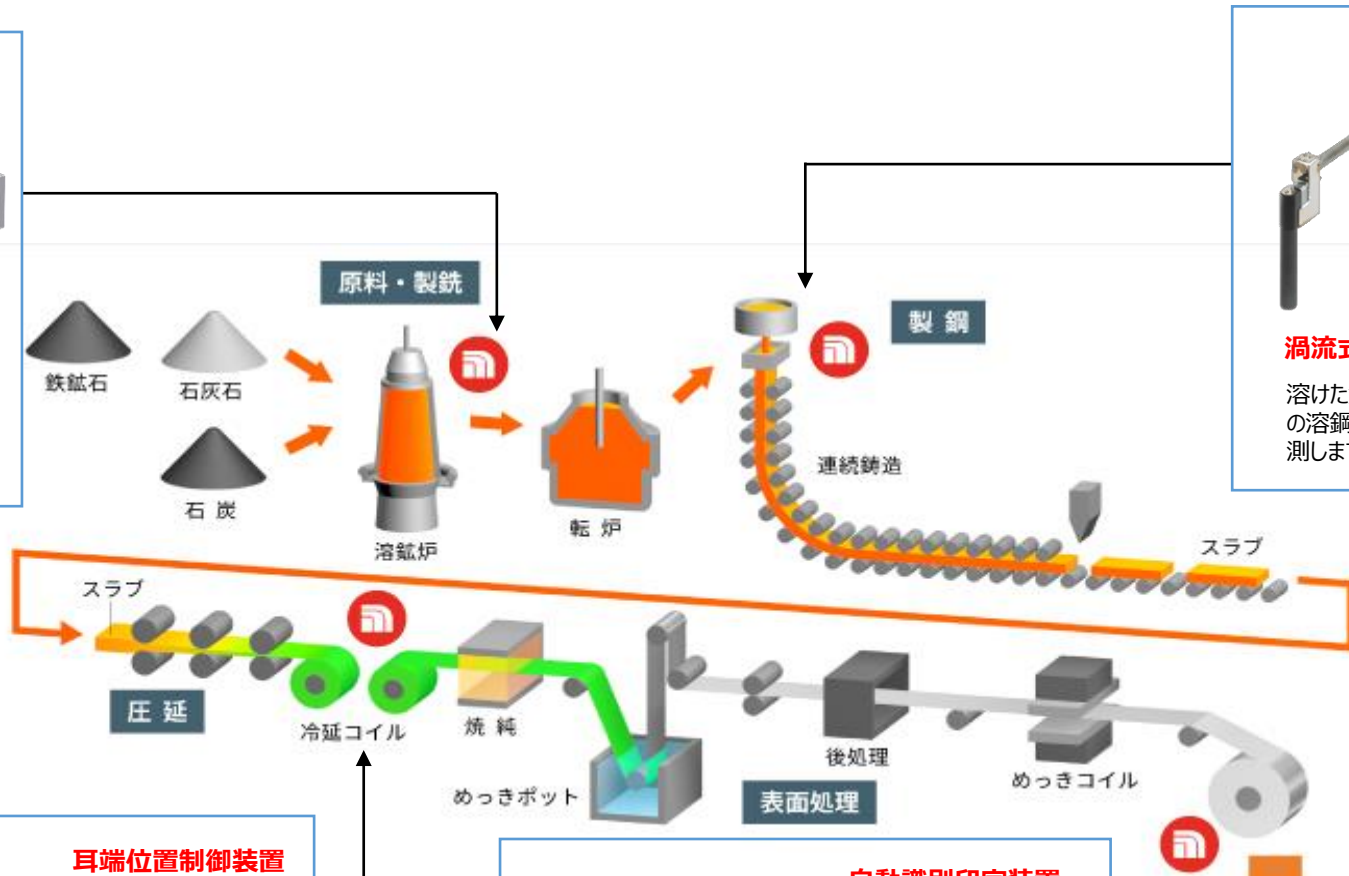
プロセス事業

鉄鋼をはじめ、金属、ガス、化学工業などあらゆる工業における自動制御装置を扱う事業です。



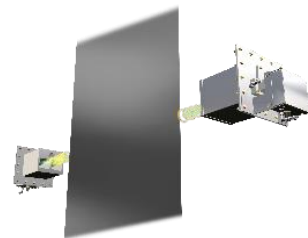
プロセス制御装置

溶鉱炉内の圧力、流量、温度などの制御を行っています。



渦流式溶鋼レベル計

溶けた鋼を型に流し込む際の溶鋼の表面の位置を計測します。



耳端位置制御装置

製造ラインを流れるスラブ（鋼材）の蛇行制御を行っています。

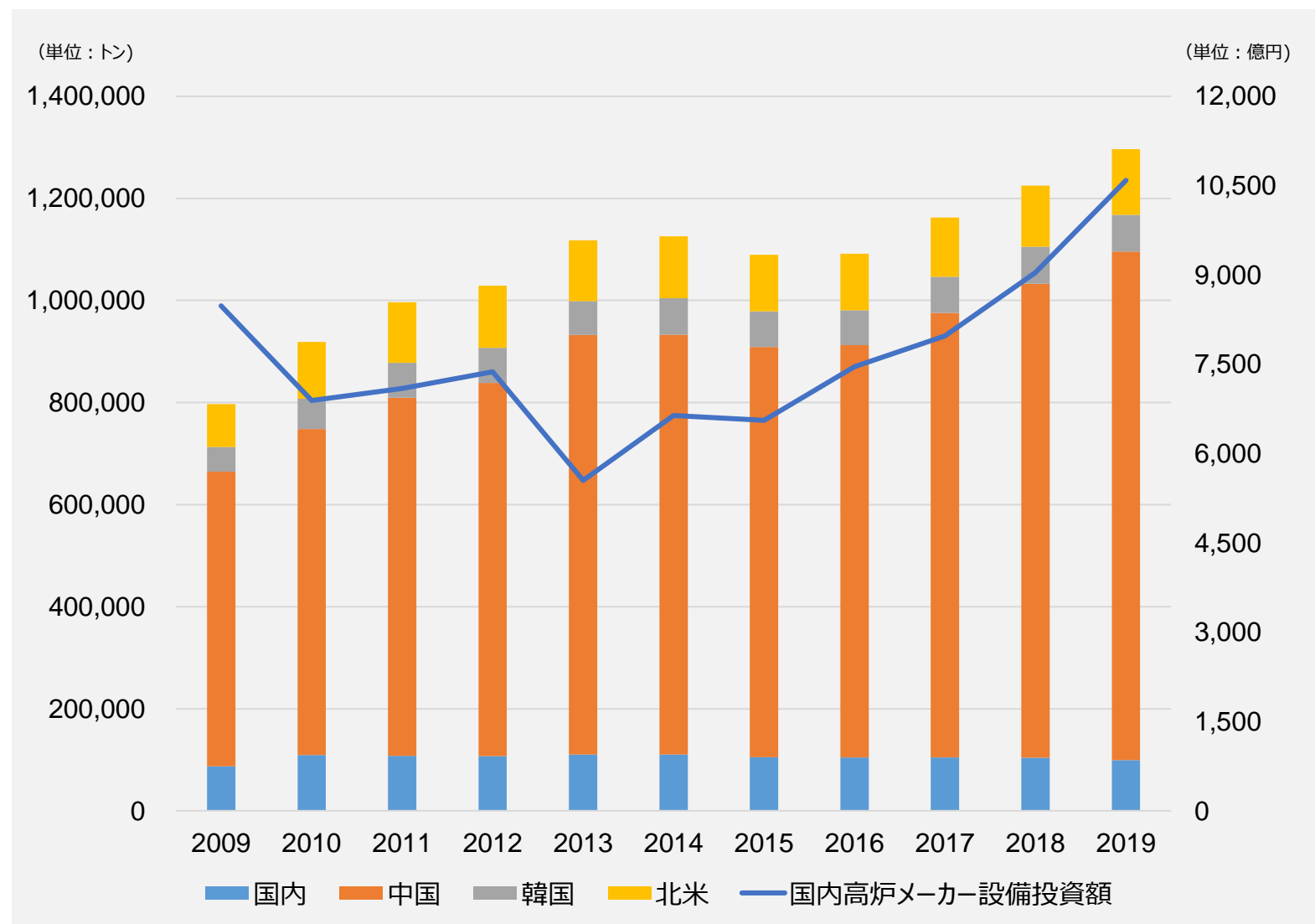


自動識別印字装置

できあがった金属素材に様々な情報を印字しています。

プロセス事業

地域別粗鋼生産量及び国内高炉大手設備投資額の推移



[出展：日本鉄鋼連盟]

ウェブ事業

主に紙・フィルム・箔など薄いシート状素材（=ウェブ）の位置制御装置などを扱う事業です。



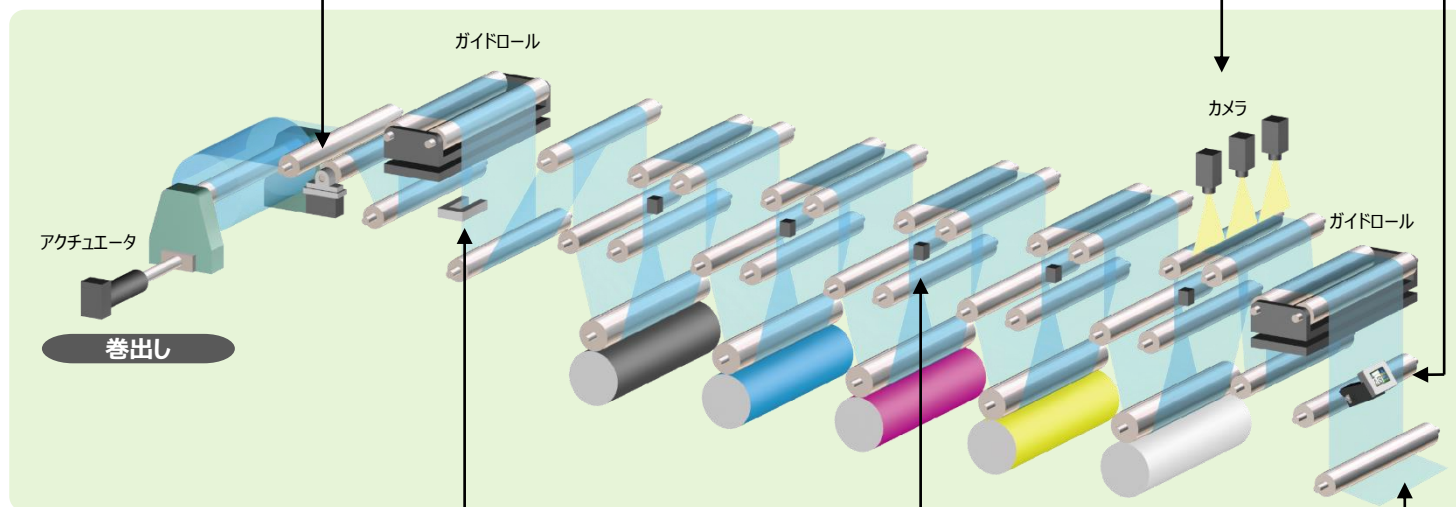
張力制御装置
ウェブの張力を一定に保ちしわ・たるみの発生を防ぎます。



印刷品質検査装置
印刷ラインの欠点を検出します。



**耳端位置制御装置
(絵柄基準)**
ウェブの規定位置を保ち蛇行を防ぎます。




**耳端位置制御装置
(エッジ・センター基準)**
ウェブの規定位置を保ち蛇行を防ぎます。



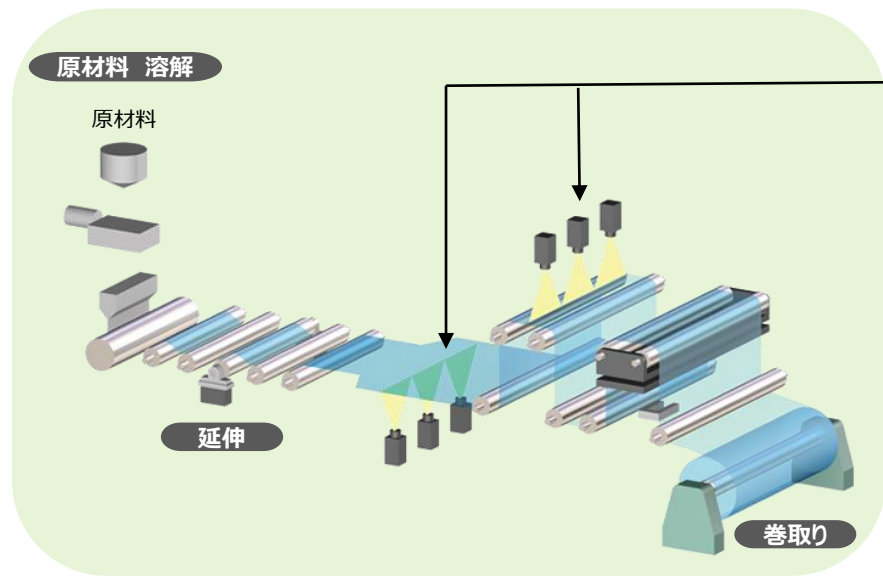
自動見当制御装置
グラビア印刷の縦横見当を自動制御します。



糊付け装置
様々な製品パターンに応じて糊付けを行います。

検査機事業

長年に渡り培ってきた画像処理技術をベースに、農産物から電子部材に至るまで幅広い製品の品質検査装置を扱う事業です。



無地検査装置

あらゆる加工現場にて高速搬送されるフィルム、紙、金属といった無地素材の表面欠陥（キズ、汚れ、異物）などを検査します。

選果装置

農産物の品質を外部（キズ、腐敗、サイズなど）、あるいは内部（糖度、酸度）要因から瞬時に非破壊で判別します。



オプティクス事業

長年に渡り培ってきたレーザー関連製品やグループ会社の株式会社光学技研が取り扱う高度な技術を必要とする特殊な光学部品を扱う事業です。

➤ 主要用途：

- 半導体検査装置
- 光学機器
- 医療機器

光学部品

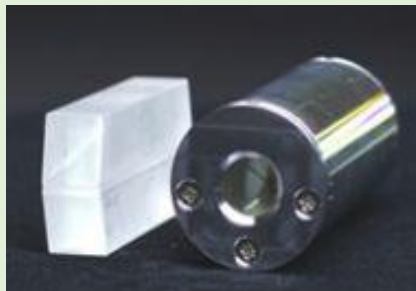


非線形光学結晶

半導体検査装置などで用いられる紫外光発生に適したCLBO素子を提供し、高い評価を受けています。

偏光子

特定の光を取り出すことのできる偏光子を、学術研究分野、光学機器分野、レーザー用途等、幅広く提供しています。



レーザー関連製品



深紫外ファイバーレーザー Cygnus

深紫外ファイバーレーザーを用いたマスク検査を実現します。定期的なメンテナンスは年1回と安定的な性能を有しています。

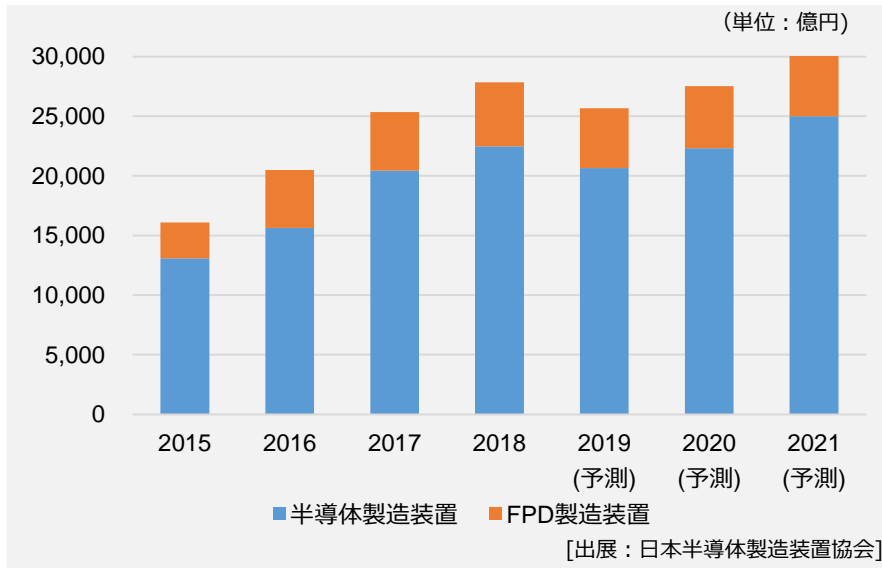


レーザー装置 HR-G10

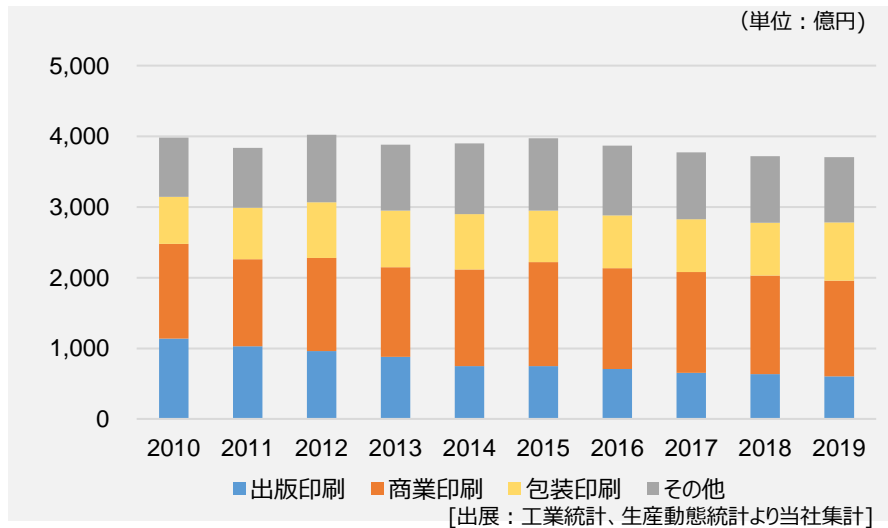
高出力グリーンレーザーを用い、シリコンウエハへの加工、金属へのマーキング、樹脂内のマーキング、薄膜加工など、多用途に用いることが可能です。

ウェブ事業 検査機事業 オプティクス事業

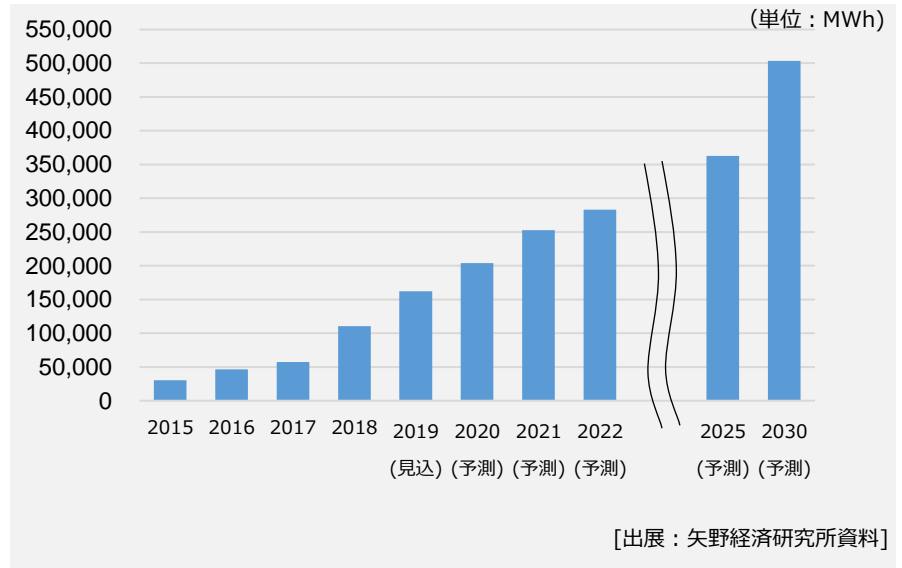
半導体・FPD製造装置需要予測 (対象セグメント：ウェブ・検査・オプティクス)



印刷市場規模の推移 (対象セグメント：ウェブ)



車載用Lib世界市場予測 (対象セグメント：ウェブ・検査)



食品機械国内販売額の推移(除、加工機械)(対象セグメント：検査)

